

モニタリング結果報告書

施設 県立汐見台病院
指定管理者 (社) 神奈川県医師会
施設所管課 病院事業課

(平成 23 年度上半期)

管理運営状況総括

今期の指定管理者の管理運営状況（1～9の結果を踏まえ、判定してください）

B

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考（確認事項等）
4月	H23. 6. 1	H23. 6. 2	月報を確認。改善すべき事項は特になし
5月	H23. 6. 20	H23. 6. 27	月報を確認。改善すべき事項は特になし
6月	H23. 7. 20	H23. 7. 25	月報を確認。改善すべき事項は特になし
7月	H23. 8. 22	H23. 8. 24	月報を確認。改善すべき事項は特になし
8月	H23. 9. 20	H23. 9. 21	月報を確認。改善すべき事項は特になし
9月	H23. 10. 20	H23. 10. 25	月報を確認。改善すべき事項は特になし

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

< 提案内容の概要 >

- 救急医療
自主救急体制の実施、横浜市救急病院輪番体制及び二次救急病院輪番体制への参加
- 開放型医療
患者紹介、共同診療、検査受託等の地域医療機関との連携
- 腎疾患専門医療
腎不全の治療、腎移植患者の管理、月～土曜日まで1日2サイクルの外来透析治療の実施
- 医療従事者の教育
看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士等を目指す臨床実習生の受入
- 産科医療
月72件の分娩を受けられる体制の確保
- 臨床研修医の受入
毎年2名の臨床研修医の受入

<実施状況>

- ① 救急医療
救急患者数 H23 上半期合計 1,455 名
- ③ 開放型医療
H23 上半期 患者紹介率 35.6%、逆紹介率 16.8%
共同診療 延 52 件、検査受託 573 件
- ③ 腎疾患専門医療
人工透析 H23 上半期 入院延患者数 662 名、外来延患者数 3299 名
- ④ 医療従事者の教育
H23 上半期実習生受入状況 実人数 211 名
(内訳) 看護師 199 名、薬剤師 4 名、栄養士 4 名、理学療法 4 名
- ⑤ 産科医療
H23 上半期 分娩実施件数 423 件
- ⑥ 臨床研修医の受入
H23 年 9 月末時点 2 名

3 収支状況 (単位：千円) 注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額				支出額	収支差額	
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入			
年間予算額	4,869,382	765,075	4,101,007	3,300	4,869,382	0	
(前年度)	4,784,051	767,956	4,012,795	3,300	4,784,051	0	
上半期実績額	4 月	393,990	394,000	△ 10	0	129,743	264,247
	5 月	338,992	260,952	78,040	0	263,808	75,184
	6 月	301,811	13,008	288,803	0	461,649	△ 159,838
	7 月	320,968	9,859	311,109	0	252,685	68,283
	8 月	342,066	10,252	331,048	766	289,138	52,928
	9 月	350,665	7,995	342,651	19	435,919	△ 85,254
	計	2,048,492	696,066	1,351,641	785	1,832,942	215,550
前年度同期計	2,072,631	689,504	1,383,049	78	1,634,732	437,899	

- 1 指定管理者の収入を記載する (県の収入である「使用料」は含まない)。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
- ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

- ②診療報酬が指定管理者の収入となるのは、診療月の2ヵ月後であるため、6月のボーナスの支払に備え、指定管理者側が資金不足を起こさないよう、県が年度当初に指定管理者に対し、政策医療交付金を多く支出している。また、薬品費の単価決定には価格交渉を行うため、支出は年度途中からとなっている。このため、収入額が支出額の111%となった。

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

基本協定において、施設の資産価値が増加する工事は県が実施することと定めている。施設の状態をよりの確に把握するため、県が支出した工事費・修繕費等についても参考に記載している。

1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。

2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	4,760,000 円	2 東病棟空調更新工事前金払
下半期		
総額		

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	借入金収入(オーダリングシステム)	280,000
支出の状況	借入金返済(オーダリングシステム)	27,982
	オーダリングシステム支出	280,000
積立等の状況	退職金積立	(期首)13,849
		(期末)49,926

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	患者数(人)			前年同月患者数(人)			対前年比増減率(%)		
	外来	入院	救急	外来	入院	救急	外来	入院	救急
4月	11,975	4,395	211	12,523	4,803	263	△ 4.4	△ 8.5	△ 19.8
5月	11,547	4,914	271	11,941	5,095	288	△ 3.3	△ 3.6	△ 5.9
6月	13,448	5,059	215	13,278	5,266	234	1.3	△ 3.9	△ 8.1
7月	12,857	5,679	283	13,078	5,188	271	△ 1.7	9.5	4.4
8月	13,110	4,989	242	12,263	4,961	266	6.9	0.6	△ 9.0
9月	12,496	5,184	233	12,446	4,496	239	0.4	15.3	△ 2.5
合計	75,433	30,220	1,455	75,529	29,809	1,561	△ 0.1	1.4	△ 6.8

		目標患者数 (人)	実績患者数 (人)	前年同期 患者数(人)	目標対比 増減率(%)	前年対比 増減率(%)
今年度 上半期計	外来	76,789	75,433	75,529	△ 1.8	△ 0.1
	入院	32,940	30,220	29,809	△ 8.3	1.4
	救急	—	1,455	1,561	—	△ 6.8

利用状況に関する意見等

①今年度上(下)半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。(特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。)

②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。

なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

②入院・外来ともに目標利用者数を下回った原因について、指定管理者は、今年3月に起きた東日本大震災の影響により関東以北で受診控えが見られ、汐見台病院にもその影響が出たためと分析している。

指定管理者からは、外的要因の影響を最小限に抑えるため、患者サービスの一層の充実を図る新たな取り組みとして、分娩後の1カ月検診前までの間に母子を対象に育児無料相談を実施していくとの報告があった。

5 苦情・要望等の状況

受付件数(うち施設所管課受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月			1			1
5月	3					3
6月			1			1
7月						
8月	1	1				2
9月		1				1
合計	4	2	2			8

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	病室に冷蔵庫を設置してほしい。	食事制限の患者もおり、療養上の課題もあるため、導入については慎重に検討していく。

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	該当なし
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日		該当なし	

9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>上半期前半の入院患者数は、東日本大震災の影響を受け、手術制限等を実施した関係もあり、前年同月と比較して患者数は減少した。外来については、4月大幅な減であったものの5月、6月は微増するまでに回復した。</p> <p>7月以後は入院外来共に患者数は前年同月と比較しても増加に転じる結果となった。</p> <p>分娩については、関東以西への里帰り出産や産み控え、近隣医療機関の受入れ数増等の影響により、予約数は減少傾向であったが分娩数は423件と昨年より28件増での折り返しとなった。</p> <p>今後は、分娩から1ヶ月検診の間の母子を対象とした育児無料相談を実施するなど、より一層の患者サービスの充実を図り、患者数の増加につなげていきたい。</p>
施設所管課	<p>横浜市磯子地域の中核的病院として、診療所に対する患者の紹介・逆紹介、地域医療機関からの検査受託など地域医療機関との連携に重点を置いた医療を提供している。また、市内で分娩施設数が増えない中で引き続き産科医療に取り組み、上半期は前年度を上回る数の分娩を実施し、横浜南保健福祉医療圏の産科医療において大きな役割を果たしている。</p> <p>入院・外来患者数の実績は目標を下回っているが、上半期後半は患者数が回復してきており、育児無料相談など新たな取り組みの効果を期待したい。</p>